



こんにちは 日本共産党

清水とし子です

発行・日本共産党日野市議会議員 清水とし子

日野市多摩平4-1-1（清水事務所）

メール jcpsimi@jcom.zaq.ne.jp

Facebook「清水登志子」で検索

携帯 090-6102-7555、事務所 042-582-1042

今年4月認可保育園に入れなかった子ども 246人

今年4月から認可保育園に入りたいと申し込んだものの、認可保育園に入れなかった子どもの数は246人であることが日野市保育課の資料から明らかになりました。

認可保育園に落ちた子どもたちのうち、園庭がない認証保育園や会社の設置した保

育所などに入った子どもたちは107名。どの保育所にも入れなかった子どもは139人にも上ります。

特に、0才、1才、2才の待機児は多数出ており、抜本的な定員枠の拡大が求められます。

今年4月1日現在の日野市の待機児数

	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計	前年比
どの保育施設にも入れなかった子どもの数	31	79	25	4	0	0	139	-113
認可保育園に入れなかった子どもの数	55	134	46	9	1	1	246	-127

いま保育園に入れない子どもたちへの緊急対策と 認可保育園のさらなる増設を

日本共産党市議団は3月議会で、調布市や川崎市で行われている「年度限定型保育事業」のような緊急対策を講じることを求め、子ども部長は「東京都でも新規事業として緊急一時受け入れ事業として8億円の予算がついている」「対応できるものは対応していきたい」と答弁しました。139人

の行き場のない子どもたちを直ちに受け入れる緊急策を日野市は講じるべきです。

また、来年4月開設予定の3園の認可保育園できたとしても、0～2才ではまた、待機児ができる可能性があります。認可保育園の増設計画をさらに増やすべきです。

古賀都議 学校教育に不当な介入

日野選出の古賀都議は、3月都議会で、足立区のある区立中学校で行われた性の学習について「不適切」と批判しました。これに対して都教育委員会は、同授業に「課題がある」とし、性教育が適切に実施されるよう指導する旨を答弁しました。

この授業は「互いに尊重し合い、対等な関係を築けるための科学的な知識を得、態度を養う」ことを目標にし、産み育てられるようになるまでは性交渉は避けることが一番良いと伝える内容でした。足立区教育委員会や大学教員と連携の上で作上げられた授業で、保護者や地域からも評価され

ていたとのことです。

日本共産党都議団は都議会生活者ネットワークと共に、都教委に対して「学校現場の教育を尊重することを求める申し入れ」を行いました。

古賀都議の質問は教育内容への不当な介入です。しかも、古賀都議は、2003年に七生養護学校（現在七生特別支援学校）の性教育にも不当に介入、その後の裁判で教員側が勝訴しています。都教委は古賀都議の介入に抗議し、学校と教員を守るべきでした。

「性のこと、ちゃんと教えてほしい」は親の願い

この問題を取り上げた日本テレビの番組「スッキリ」が行ったアンケート「中学3年生に『性交・避妊』を詳しく授業するのは ありか なしか」という問いに対して「あり」は34,075人、「なし」は3,270人で、圧倒的多数が教えるべきだという考えでした。

「さまざまな情報が飛び交うなかで育つ子どもたちが、性暴力の被害者や加害者にならないためにも、必要な知識を学校で教

えてほしい」これは親たちの切実な願いです。

性教育問題を考える日野市民実行委員会では、下記の集会を開き、助産師さんから「子どもたちに性の問題をどう話していったらよいのか」講演を行います。「七生養護学校」での教育実践の報告や保育士さん、保護者の方からの発言もあります。ぜひ、ご参加ください。

性のこと、何歳から教えますか？

～日野からもう一度考えよう こころとからだの学習～

日時 6月23日（土）午後2時～4時

場所 多摩平の森 ふれあい館（多摩平図書館上）

講演 国分寺助産師会所属 助産師さん
発言 七生養護学校の教育実践の報告、
学校現場から、保育士から、保護者から、
七生養護裁判の弁護士から

